

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	18	環境政策費
事業名	21825	地球温暖化対策事業費(21830公共施設緑化推進事業費を統合)						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,710	3,100	△ 610	3,100	要求どおり	3,100	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	3,710	3,100	△ 610	3,100		3,100	

<b>事業の目的</b>			
地球温暖化防止対策への身近な取り組みについて、普及啓発と緑化意識の高揚と推進を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
公共施設の緑化推進のための苗木等の配付 児童・生徒への環境教育及び身近な取り組みについての市民への普及・啓発			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
苗木等配付公共施設数(箇所)	26	48	50
苗木等配付本数(本)	3,080	3,852	4,000
小中学生等環境学習参加者数(人)	39	110	150
<b>成果</b>			
公共施設の緑化を推進することによるCO2削減、地球温暖化防止など生活環境の保全 環境学習を継続して実施することによる環境に対する意識の高揚			
<b>要求額増減理由</b>			
環境学習啓発用品購入費用の減			

<b>①総合計画</b>		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	生活環境費
事業名	41500	水質汚濁対策事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,250	1,250	0	1,350	事業内容の精査 ・荒城川上流部の水質調査を追加	1,350	財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	1,250	1,250	0	1,350		1,350	

<b>事業の目的</b>			
水質の汚濁を防止するとともに、市民憲章前文の「山も水もうつくしい飛騨高山」を具現化するため、河川水質調査や水生生物調査等を実施し、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性の啓発に努める。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
河川水質調査の実施 水生生物調査(カワゲラウオッチング)の開催			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
水生生物調査参加者(人)	76	88	90
<b>成果</b>			
河川水質の状況把握 市民に対して、環境保全の重要性を知ってもらい、環境について考え直してもらい機会を提供できる。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(1)快適に暮らせる環境を整備する		
①生活環境の保全		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
水質汚濁対策事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	生活環境費
事業名	41510	大気汚染等防止対策事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		130	83	△ 47	100	積算内訳の精査	100	財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	130	83	△ 47	100		100	

<b>事業の目的</b>			
地球環境問題の一つとなっている酸性雨について状況を把握し、今後の大気汚染防止対策の基礎資料として活用する。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
酸性雨調査を実施する。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
調査地点数(箇所)	5	1	1
<b>成果</b>			
酸性雨の状況把握			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(1)快適に暮らせる環境を整備する		
①生活環境の保全		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
大気汚染等防止対策事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	生活環境費
事業名	41525	公害防止対策委任事務費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		270	1,020	750	570	積算内訳の精査 ・悪臭等測定費の増	570	財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	97	97	0	74			
	起債			0				
	その他			0				
一般財源		173	923	750	496	496		

<b>事業の目的</b>			
各公害防止法に基づき関係機関と協力し立入検査等を行い公害発生防止に努める。			
<b>事業実施の課題</b>			
公害苦情に対する専門的な知識と対応が必要である。			
<b>事業概要</b>			
県からの調査依頼による騒音測定(24h連続測定) 公害苦情にかかる臭気調査委託			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
騒音測定(回)	1	1	1
<b>成果</b>			
騒音測定を継続することにより、道路施設対策、交通の円滑化など、大気汚染対策を含めた総合的な交通施策の推進に役立てることができる。 臭気調査の委託により、苦情に対する適切な対応が検討できる。			
<b>要求額増減理由</b>			
専門調査業者による測定委託			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(1)快適に暮らせる環境を整備する		
③公害の発生防止		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
公害防止対策事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	生活環境費
事業名	41535	生活環境保全事務費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,360	1,968	608	1,360	前年並み事業費とする	1,360	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	1,360	1,968	608	1,360		1,360	

<b>事業の目的</b>			
高山市環境基本条例に基づく環境基本計画・アジェンダ21を推進することにより、地球環境の保護と市民の環境意識の向上を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
高山市を訪れる観光客等への路上喫煙禁止等の啓発と理解を求めることが必要である。			
<b>事業概要</b>			
高山市快適環境づくり市民会議による環境講演会(推進大会)、グリーンマーケット等の開催 ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
推進大会(環境講演会) 参加者 (人)	160	200	200
グリーンマーケット 参加者 (人)	3,000	2,000	3,000
<b>成果</b>			
地球環境の保護と市民の環境意識の向上			
<b>要求額増減理由</b>			
路上喫煙禁止区域啓発のための路面表示等を充実			

<b>①総合計画</b>	
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして	
環境・衛生	
(1)快適に暮らせる環境を整備する	
①生活環境の保全	
<b>②実施計画・中期財政計画</b>	
3「すみよさ」のあるまちをめざして	
(6)環境・衛生	
ソフト	
環境行政推進事業	
<b>③事業評価</b>	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>	
基本目標	取組予定
基本施策	
実施計画	
取組状況	
<b>④市長の約束</b>	

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42200	ごみ収集事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		276,550	279,154	2,604	276,550	収集運搬経費については、要求どおり 廃家電等不法投棄対策については、方策の検討を 要するため予算化を見送る	276,550	財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	276,550	279,154	2,604	276,550			
						276,550		

<b>事業の目的</b>			
日常生活に伴って生じる一般廃棄物を適正に収集運搬し、快適な市民生活環境を保全する。			
<b>事業実施の課題</b>			
地上デジタル放送完全移行に伴う不法投棄の増加が懸念される。			
<b>事業概要</b>			
市内ステーション等に排出される、可燃・不燃・資源ごみを収集運搬 不適切な排出ごみに対する看板等による啓発とパトロールによる指導			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
高山市収集運搬総量(t)	18,387	18,538	18,719
<b>成果</b>			
適正なごみ収集運搬による生活環境の保全			
<b>要求額増減理由</b>			
地デジ化による廃家電等不法投棄対策			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
②収集処理業務の効率化		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
ごみ収集事業、不法投棄防止事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	ごみ収集事業	今後の方向性
評価区分	Ⅱ	民間活力の活用、賃金職員への転換など、コスト削減が進んで いる。廃棄物の総量削減やごみの資源化について継続して取り 組む必要がある。
コスト・成果ポ ジション	コスト 低	成果 中
実施方針	「Ⅰ」の水準に向け改善が必要	
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42205		ごみ焼却処理事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		153,503	153,447	△ 56	154,840	積算内訳の精査 ・隔年で行う保守点検の減 ・賃金職員1名の増	154,840	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	123,668	114,233	△ 9,435	120,533			
一般財源		29,835	39,214	9,379	34,307		34,307	

<b>事業の目的</b>			
焼却施設の適正な維持管理により、市内から排出される一般廃棄物を適正に処理・処分を行う。			
<b>事業実施の課題</b>			
飛騨市の南吉城クリーンセンターへ委託している国府、上宝・奥飛騨温泉郷地域の可燃ごみの焼却等事務委託の解消			
<b>事業概要</b>			
ごみ焼却施設の維持管理 ごみ質、焼却灰、排ガス、周辺環境測定分析 国府、上宝地域の可燃ごみ処理等の飛騨市への事務委託			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
焼却処理量	20105t	20105t	20000t
<b>成果</b>			
排出されたごみの適正な焼却処理			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
②収集処理業務の効率化		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
ごみ焼却処理事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	ごみ焼却処理事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	更なるコスト削減をめざし、循環型社会の実現を目指すため、ごみ資源化意識啓発事業と併せ、廃棄物の総量削減を進め、コスト削減を図る必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標	3 経営の効率化	取組予定
基本施策	1 民間活力の活用を推進します	資源リサイクルセンター焼却業務の委託化に向けた検討
実施計画	23 民間への委託や移譲の推進	
取組状況	新焼却炉の建設と合わせて検討	
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42210		ごみ埋立処理事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		52,029	54,800	2,771	51,700	積算内訳の精査 ・処理水配管清掃費用の増 ・施設管理等の委託費は実績を勘案し精査	51,700	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	872	842	△ 30	750			
一般財源		51,157	53,958	2,801	50,950	50,950		

<b>事業の目的</b>			
埋立施設の適正な維持管理により、市内から排出される一般廃棄物を適正に処理・処分を行う。			
<b>事業実施の課題</b>			
ごみ資源化指導による、減量化が課題			
<b>事業概要</b>			
埋立処分地の維持管理 浸出水、悪臭調査分析 埋立処分地の残容量調査			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
埋立量(t)		3,861	3,861
			H23計画
			3,800
<b>成果</b>			
適正な埋立業務の実施と管理による更なる埋立地の延命化			
<b>要求額増減理由</b>			
第一次埋立処分場処理水配管清掃の増(排水管内にスケールが固着し流量低下による場外流出を防ぐ)			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
②収集処理業務の効率化		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
ごみ埋立処理事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	ごみ埋立処理事業	今後の方向性
評価区分	Ⅱ	民間活力の活用、賃金職員への転換など、コスト削減が進んでいる。廃棄物の総量削減やごみの資源化について継続して取り組む必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 低	成果 中
実施方針	「Ⅰ」の水準に向け改善が必要	
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標	3 経営の効率化	取組予定
基本施策	1 民間活力の活用を推進します	資源リサイクルセンター埋立業務の委託化(職員2名の削減)
実施計画	23 民間への委託や移譲の推進	
取組状況	委託化を実施	
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42215		ごみ減量化推進事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		14,800	14,800	0	14,800	要求どおり	14,800	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	14,800	14,800	0	14,800		14,800	
一般財源		0	0	0	0		0	

<b>事業の目的</b>			
ごみシール制や生ごみ堆肥化装置の普及促進により、ごみの減量化を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
ごみの減量化を推進するためには、生産から消費までの各段階で、市民や事業者の減量化に対する更なる意識改革が必要である。			
<b>事業概要</b>			
ごみ処理券回収報奨金の交付 生ごみ堆肥化装置設置に対する助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
ごみ処理券回収実施団体(団体)	73	70	70
ごみ処理券回収枚数(枚)	399,532	398,351	400,631
生ごみ堆肥化装置設置数(件)	33	76	95
<b>成果</b>			
継続して行うことによるごみの減量化			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
①ごみの減量化や資源化		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト	ハード	
ごみ減量化意識高揚事業	生ごみ堆肥化設備設置事業補助	
<b>③事業評価</b>		
事業名	ごみ再資源化事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	資源ごみ排出量の減少は、分別がしっかりとされているという前提においては望ましいことである。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要 今後もごみ資源化意識啓発事業と併せ、廃棄物の総量削減を進め、コスト削減を図る必要がある。	
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標	4 財源の確保	取組予定
基本施策	2 収入の確保を図ります	
実施計画	37 使用料、手数料等の負担の適正化	ごみシール制の見直しに向けた検討
取組状況	ごみ処理基本計画の見直しにより検討	
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42220		ごみ資源化推進事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		122,800	112,800	△ 10,000	112,400	施設修繕は、きめ細かな交付金によりH22年度で前倒し実施し、その他は要求どおり・清見RC解体費用の減	112,400	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	12,600	16,534	3,934	15,300			
一般財源		110,200	96,266	△ 13,934	97,100	97,100		

<b>事業の目的</b>			
一般廃棄物の資源化によるごみの減量と、資源の循環を啓発する。			
<b>事業実施の課題</b>			
地上デジタル化に伴う廃家電等の不法投棄の増加が懸念される。			
<b>事業概要</b>			
容器包装及びその他資源化できるごみの集団回収への奨励 資源ごみの収集運搬選別及び容器リサイクル施設での選別			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
資源回収実施団体(団体)	93	91	91
資源回収回収総量(kg)	2,644,426	2,776,704	2,900,000
資源ごみ収集処理、資源化量(kg)	3,346,605	3,516,260	3,700,000
<b>成果</b>			
資源化意識の高揚による更なるごみの資源化			
<b>要求額増減理由</b>			
清見リサイクルセンター廃止に伴う解体工事の減			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
①ごみの減量化や資源化		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		ハード
ごみ資源化意識高揚事業、ごみ再資源化事業		ごみ処理施設維持修繕事業
<b>③事業評価</b>		
事業名	ごみ資源化意識高揚事業	今後の方向性
評価区分	Ⅱ	本事業の実施により、ごみの減量化や資源化とともに、意識の高揚も図られている。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 高
実施方針	「Ⅰ」の水準に向け改善が必要	
今後引き続き市民、集団資源回収団体への啓発を実施するなど、さらに資源化意識の高揚、資源化を図っていく必要がある。		
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42225	ごみ焼却施設保守事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		256,000	305,405	49,405	300,260	概ね要求どおり(実施計画事業費) ・制御系設備更新(H22~H23継続費) ・ごみピット増量化	300,260	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	65,000		△ 65,000				
一般財源		191,000	305,405	114,405	300,260	300,260		

<b>事業の目的</b>			
ごみ焼却炉等の適正な維持管理及び事故防止等			
<b>事業実施の課題</b>			
ごみ焼却炉の適正な維持管理と延命化			
<b>事業概要</b>			
焼却炉の適正な運転管理を行うため長期修繕計画に基づいた設備の保守点検業務			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
焼却処理量(t)	20,105	20,105	20,000
<b>成果</b>			
焼却施設の性能を維持し、円滑な稼働ができる。			
<b>要求額増減理由</b>			
ごみ受入れ施設修繕工事の増 制御系設備更新工事費の増			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
②収集処理業務の効率化 ③焼却施設の整備		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト	ハード	
ごみ焼却処理事業	焼却処理施設整備事業	
<b>③事業評価</b>		
事業名	ごみ焼却処理事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	更なるコスト削減をめざし、循環型社会の実現を目指すため、ごみ資源化意識啓発事業と併せ、廃棄物の総量削減を進め、コスト削減を図る必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標	3 経営の効率化	取組予定
基本施策	3 施設の有効活用・統廃合を図ります	ごみ焼却炉の延命対策工事の実施
実施計画	32 ストックマネジメントの推進	
取組状況	制御系設備更新工事の実施	
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42235		清掃関係事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		8,267	8,821	554	8,288	前年並みの事業費とする	8,288	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	8,267	8,821	554	8,288		8,288	

<b>事業の目的</b>			
清掃一般事務に係る事務費 資源リサイクルセンター夜間警備及び料金徴収用パソコン保守点検			
<b>事業実施の課題</b>			
施設の安全管理を行うため、久々野クリーンセンターの夜間の警備体制を整える必要がある。			
<b>事業概要</b>			
資源リサイクルセンター及び久々野クリーンセンターの施設管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
施設数(箇所)	2	2	2
<b>成果</b>			
ごみ処理施設の安全管理運営			
<b>要求額増減理由</b>			
施設の安全管理のため久々野クリーンセンターの施設警備委託(新規)			

<b>①総合計画</b>		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標	取組予定	
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42250 粗大ごみ再利用化事業費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,970	4,330	360	3,970	施設修繕は、きめ細かな交付金によりH22年度で前倒し実施し、その他は要求どおり	3,970	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	500	700	200				
一般財源		3,470	3,630	160	3,970	3,970		

<b>事業の目的</b>			
排出された粗大ごみを再利用し、リフォームフェアの開催により資源化意識啓発を行う。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
粗大ごみのリフォームとリフォームフェアの開催			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
リフォームフェアの開催(回)	16	16	16
リフォームフェア来場者数(人)	3,540	3,570	3,600
リフォームフェア販売個数	682	690	700
<b>成果</b>			
リフォームフェアの充実を図るなどして全市域に物を大切にする意識を拡げ、ごみの減量を図っていく。			
<b>要求額増減理由</b>			
リフォームセンター施設修繕料の増。			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
①ごみの減量化や資源化		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
ごみ再資源化事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	ごみ再資源化事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	資源ごみ排出量の減少は、分別がしっかりとされているという前提においては望ましいことである。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42255	発泡スチロール再資源化事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,280	3,280	0	3,080	業務委託について実績を勘案し精査	3,080	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	3,280	3,280	0	3,080		3,080	

<b>事業の目的</b>			
一般廃棄物の資源化によるごみの減量と、資源の循環を啓発する。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
資源ごみ拠点集積所に排出された発泡スチロールの収集運搬 資源リサイクルセンターに排出された発泡スチロールの減容化			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
発泡スチロール収集搬入量(kg)	14,480	14,382	14,500
<b>成果</b>			
更なる発泡スチロールの資源化啓発を行い、資源化によるごみの減量を図っていく。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
①ごみの減量化や資源化		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
ごみ再資源化事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	ごみ再資源化事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	資源ごみ排出量の減少は、分別がしっかりなされているという前提においては望ましいことである。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
今後ともごみ資源化意識啓発事業と併せ、廃棄物の総量削減を進め、コスト削減を図る必要がある。		
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42260 容器包装廃棄物再資源化事業費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		56,000	56,000	0	56,000	要求どおり	56,000	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	56,000	56,000	0	56,000		56,000	

<b>事業の目的</b>			
日常生活から分別排出される容器包装を適正に資源化し、資源の循環型を啓発する。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
分別収集された容器包装の選別圧縮、再資源化			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
プラスチック製容器包装総量(kg)	705,560	703,160	702,000
紙製容器包装総量(kg)	656,970	668,100	676,000
<b>成果</b>			
運搬されたプラスチック・紙容器包装の適正な再商品化ができる。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
①ごみの減量化や資源化		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
ごみ再資源化事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	ごみ再資源化事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	資源ごみ排出量の減少は、分別がしっかりなされているという前提においては望ましいことである。
コスト・成果ポジション	コスト	今後もごみ資源化意識啓発事業と併せ、廃棄物の総量削減を進め、コスト削減を図る必要がある。
	成果	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	水道環境部 生活環境課	内線 2172
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
事業名	42280	ごみ処理施設建設事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,000	5,000	2,000	5,000	要求どおり	5,000	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	3,000	5,000	2,000	5,000		5,000	

<b>事業の目的</b>				
新ごみ処理施設の整備に向けた各種基礎調査の実施				
<b>事業実施の課題</b>				
焼却施設建設に向けた今後のごみ排出量の的確な推計				
<b>事業概要</b>				
家庭系ごみ調査(可燃ごみ及び不燃ごみ) 事業系ごみ調査(可燃ごみ) 焼却施設候補地分析、将来のごみ質調査				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
家庭系一般廃棄物量(t)		17,855	18,431	18,431
事業系一般廃棄物量(t)		8,354	8,591	8,591
<b>成果</b>				
排出主体ごとのごみ組成の違いや特性を把握することにより、ごみの減量化の具体的な施策の立案作成時の基礎資料となる。 焼却施設候補地分析とごみ質調査資料は、新施設計画の基礎資料となる。				
<b>要求額増減理由</b>				
焼却施設候補地分析調査及びごみ質調査の実施の増				

<b>①総合計画</b>		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(2)資源循環型社会の実現を図る		
③焼却施設の整備		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ハード		
焼却処理施設整備事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④第5次行政改革大綱実施計画(平成22年度 年次計画)</b>		
基本目標		取組予定
基本施策		
実施計画		
取組状況		
<b>④市長の約束</b>		